

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第43週（令和7年10月20日～令和7年10月26日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

・第43週は、梅毒の報告が20件ありました。梅毒は、主に性的な接触で感染し、感染した部位にしこりが出来る等、感染後の経過期間によって様々な症状が出ます。時に無症状になりながら進行するため、知らずに誰かにうつすことがあります。感染のリスクを減らすため、避妊具（コンドーム）を正しく使用しましょう。梅毒は、早期に抗菌薬で治療すれば完治が可能である一方、検査や治療が遅れると、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。県内の保健所等では、梅毒等の性感染症の検査を無料・匿名で受けることができます。検査の詳細については、最寄りの保健所までお問合せください。

・インフルエンザの定点当たり報告数が3.93となりました。本疾患は、主に患者の咳やくしゃみに含まれる飛まつを吸い込むことや、感染者との接触により感染し、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。感染予防のため、手洗いの励行、適切なマスク着用、こまめな換気、咳エチケット等に努めましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	10	608	192	11,376
腸管出血性大腸菌感染症	5	244	94	3,443
A型肝炎	1	8	1	111
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	67	9	1,003
急性脳炎	2	32	4	426
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	60	20	1,138
梅毒	20	631	157	11,242
播種性クリプトコックス症	1	10	4	138
百日咳	37	3,037	773	82,795

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	208	1.70	0.77	9,900	2.57
インフルエンザ	479	3.93	1.45	12,576	3.26
急性呼吸器感染症	6,245	51.19	1.18	201,882	52.48
RSウイルス感染症	169	2.41	1.06	2,966	1.26
咽頭結膜熱	34	0.49	0.97	515	0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	240	3.43	1.46	3,550	1.51
感染性胃腸炎	322	4.60	1.11	8,020	3.42
水痘	16	0.23	1.33	417	0.18
手足口病	17	0.24	0.45	653	0.28
伝染性紅斑（警報レベル）	95	1.36	0.86	2,239	0.95
突発性発しん	18	0.26	0.58	600	0.26
ヘルパンギーナ	14	0.20	2.33	592	0.25
流行性耳下腺炎	2	0.03	0.67	99	0.04
急性出血性結膜炎	2	0.08	2.00	7	0.01
流行性角結膜炎	47	1.81	0.90	634	0.91
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	12	0.03
無菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	25	0.05
マイコプラズマ肺炎	12	0.80	0.92	691	1.44
クラミジア肺炎	0	0.00	-	5	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	-	-